

JET STREAM Forever

① サン・マルコの恋人 San Marco

1. ミスターロンリー	Mr. Lonely(B.Vinton/G.Allan)	2:33
2. シャルメーン	Charmaine(L.Pollack/E.Rapee)	3:04
3. 夕暮れのデロス	MICONOS(M.Allen/G.Tailor)	1:27
4. エーゲ海の真珠	Penelope(A.Alguero)	3:38
5. 恋はみずいろ	L'amour est bleu(A.Popp)	3:20
6. オリーブの首飾り	El Bimbo(C.Morgan)	2:27
7. 涙のトッカータ	Toccata(G.L.Rolland)	2:52
8. 渚のアデリーヌ	Ballade pour Adeline(P.D.Senneville)	2:34
9. 午後の旅立ち	Triste coeur(P.D.Senneville)	2:44
10. サン・マルコの恋人	SAN MARCO(M.Allen/G.Tailor)	1:26
11. ベニスの夏の日	Summertime in Venice(A.Cicognini)	2:24
12. シバの女王	La Reine de Saba(M.Laurent)	2:56
13. ハーレム・ノクターン	Harlem Nocturne(E.Hagen/D.Rodgers)	4:22
14. フィーリング	Feelings(M.Albert)	3:48
15. ある愛の詩	Where do I begin love story(EA.Lai/C.Sigman)	3:05
16. 愛しのクリスチーナ	Souvenirs D'enfance(P.D.Senneville/O.Toussaint)	3:17
17. 愛のコンチェルト	Concerto pour une jeune fille nommée "Je t'aime"(P.D.Senneville)	3:24
18. 慕情	Love is a Many Splendored Thing(S.Fain)	3:19
19. 白鳥の城	THE SWAN CASTLE(M.Allen/G.Tailor)	1:20
20. この世の果てに	The End of the World(A.Kent)	2:37
21. 夢幻飛行	Midnight Cruise(R.H.Wells)	3:57

ナレーション入り

〈CDの取り扱い上のご注意〉●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。〈CDの保管上のご注意〉●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、元のケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

城 達也 ナレーション

ミスターロンリー

遠い地平線が消えて深々とした夜の闇に心を休める時、遙か雲海の上を音もなく流れ去る気流は、たゆみない宇宙の営みを告げています。満天の星をいただく果てしない光の海を、ゆたかに流れ行く風に心を開けば、きらめく星座の物語も聞こえてくる、夜の静寂の何と饒舌のことでしょうか。光と影の境に消えて行った遙かな地平線も、臉に浮かんでまいります。

夕暮のデロス

「ミッコンノース、ミッコンノース」と棧橋で、船頭さんの娘が可愛い声をはり上げている。夕暮のデロス島でお客さんはもう、渡し船に乗ってミコンノースへ戻る時刻だというのだ。乗りはぐれたら、この無人島に一人取り残されてユリシーズの夢を見ることになるだろう。廃墟の床を飾る獅子のモザイクの上で、月明かりに照らされながらこの島の主であるトカゲの群に食われて命果てるかもしれない。それもいいではないか、と英雄気取りのお客さん達が三々五々船着場へ集まってくる。娘さんの呼び声が長く尾を引く先のミコンノース島の白壁の町に、もう一つ思い残すこともあるというので…。

サン・マルコの恋人

ベニスのサンマルコ広場で、夏が海風に吹かれ広場にテーブルを出したいくつものレストランが、生バンドを揃えて客引きに余念がない。夏の話が入り乱れ、寺院のひさしにどっさり人が登って見ているので、広場の人々は意識過剰になっている。似顔絵のモデルさながら、レストランのテーブルで気取っているご婦人のところへ、カメラエーレが粋な知らせを運んでくる。行きずりの男女が、まことしやかなゴンドラに乗っていく街のことだ。夏化粧を塗りかさねて、恋のふりをするなど、何の造作もありはしない。

白鳥の城

チロルの山々から、ババリアの野へ舞いおりてくる雪が、山裾の盆地を満たし、山腹の白鳥の城を見上げている頃だ。山の頂へワイヤーをかけたロープウェイが、雪の断崖へゴンドラを引き上げているだろう。夏には見捨てられていたロープウェイがスキー客を集め、夏には恋人たちを集めた山間の小道が、雪に埋もれている。そんな季節のことだ。満月の夜には馬車を走らせてゆく夢見ここの人がいて、カンテラの明かりが鈴の音と共に揺れながら、遠ざかっていったものだという。降る雪とともに語り伝えられて、誰知らぬ者もない白鳥の城の主人のことなのだが…。

夢幻飛行

夜間飛行のジェット機の翼に点滅するランプは、遠ざかるにつれ次第に星のまたたきと区別がつかなくなります。おくりしておりますこの音楽が、美しくあなたの夢にとけ込んで行きますように…。